

EVENT 26 MARKETING

August 25, 2017



発行所：株式会社 MICE 研究所
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F
TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



体験型マーケティングの世界へようこそ

今号は、8月30日に開催する体験型マーケティングのイベント「BACKSTAGE2017」の大特集だ。中身がガイドブックの様相ならば、表紙は招待状に見立てた。

BACKSTAGE2017では、イベントやMICE、マーケティングの固定概念があらゆる角度から揺さぶられるような、当たり前だった景色を新鮮に感じられるような、学びや会

いを用意して待っている。

面白いのは、登壇いただくスピーカー陣に食、カルチャー、システム、クリエイティブと多彩なイベント主催者・マーケティング担当者ばかりでなく、行政関係者からプロレスラーまでが並び、参加側の事前登録者にもその布陣に負けないほどの多様性があること。体験型マーケティングはあらゆる分野・業種を横断し

ていることに改めて驚く。

当日会場に参加できない方でも本誌を読めば体験型マーケティングを施策として取り組んでいくために必要なキーワードや先駆者やキーパーソン、ソリューションプロバイダーがわかる。

もちろん、読者の皆さん全員に参加いただきたい気持ちには変わりはない。ということで、

BACKSTAGE会場と同じ謎解きを紙面にご用意。8ページに掲載した謎解きの問いをご覧いただき、いつもより少しだけ前のめりに、このフリーペーパーを参加“体験型”スタイルで楽しんでいただけたら、うれしい。

いつもと紙面との向き合い方が変わることによって、読者体験が情報のアップデート+αになったならば、さらにうれしい。

イベントの企画・運営、申込受付、集客方法までトータルでサポート

全てのイベントの悩みはイベントレジストにお任せください

企業のプライベートイベントやセミナー、その他各種イベントの

- ✓ 企画立案から実施
- ✓ イベント告知、申込受付
- ✓ イベントへの集客

...など、イベント主催者の方の悩みをまとめて解決できる EventRegist にまずは相談してみませんか？

イベントレジストは BACKSTAGE 2017 の企画・受付・運営などをおこなっています
*BACKSTAGE 実行委員会の1社として

EventRegist

イベントレジスト株式会社 <http://eventregist.com>

【資料請求・お問い合わせ】
MAIL: contact@eventregist.com
TEL: 03-6869-5592

BACKSTAGE 2017

の 歩 き 方



／ 学び、出会う！ ／



Session (写真左)にはQ&Aがない代わりに、Session後にFire Side Chatが用意されている。登壇者からSessionで学び、Fire Side Chatに直接出会える仕組み。Fire Side Chatでは芝生エリアでフランクに登壇者に質問できる。(写真は今年の「デジタル時代のExperiential Marketingとは?」より)

**FSCは
各10分!**

● CONFERENCE Session & Fire Side Chat

今号の特集「BACKSTAGE2017の歩き方」は、8月30日虎ノ門ヒルズフォーラムにご来場いただいた方のガイドブックになるよう制作した。ガイドブックには、2つの役割があって、①事前のプランニング、②現地でのガイドラインを果たさなくてはならない。

BACKSTAGE2017のタグライン「体験型マーケティングに学び、出会う1日」が指す学びと出会いは、全方位にある、というのが最初にお伝えしたいマインドセット。13のSessionスピーカーの体験談、展示会場の出展者が提案するサービス・ソリューション、今回新設したコミュニティ/ミートアップのもつ熱気、BACKSTAGEの舞台裏のプロフェッショナルなワーク、会場のもつ場の力から体験してほしい。

そして、2つめが学びは一方通行でなく、インタラクティブであるということだ。BACKSTAGE2017で起きる共感やコミュニケーションは、受け手のあなたから発信者側にも戻って、双方向に学びがあるのが、BACKSTAGEの特徴ともなっている。

前回のBACKSTAGEからも、コラボが生まれ、語られたキーワードがトレンドになり、マーケティングやイベントでのひとつの流れとなったのは、一人ひとりがアクションにつなぎ、それが途切れなかったから。

このガイドブックには載っていない、あなただけの体験をシェアして新しい流れをつくるのが、本当のBACKSTAGEの歩き方だ。

#Backstage17

TIME		Session (メインホール)	(key word)	Fire Side Chat (ホワイエ)
9:50 ~ 10:00	(15)	オープニングアクト		
10:00 ~ 10:40	(40)	Session 1 イベント制作の企業交渉など、裏側ぶっちゃけ話 Rhizomatiks 齋藤 精一さん 森ビル(株) 杉山 央さん 日本アイ・ビー・エム(株) 岡田 明さん	Creativity Tech	
10:45 ~ 11:10	(25)	Session 2 体験するから心に響く! 記憶に残る! ~ エスケープハントの体験型アクティビティのマーケティング・MICE 誘致・DMO 活用事例紹介今後の展開 エスケープハントジャパン(株) 山田敦子さん	Creativity SocialMedia	10:55 ~ Session 1 : FSC
11:15 ~ 11:55	(40)	Session 3 カルチャーイベントとフードイベントの仕掛け人が語る、まだまだイベントで出来ること AATJ(株) 遠藤 衆さん アンビシステム(株) 中川 悠介さん (株) TAMARIBA 牧野 晃典さん	to C Event	11:25 ~ Session 2 : FSC
11:55 ~ 12:40	(45)	ランチ		12:10 ~ Session 3 : FSC
12:40 ~ 13:05	(25)	Session 4 地方創生に役立つデータの力 (株) データビークル 西内 啓さん	データ活用 インバウンド	
13:10 ~ 13:35	(25)	Session 5 グローバルソーシャルネットワーク ~ Facebookの日本社会にむけたコミュニティ構築 ~ Facebook Japan 横山 直人さん	コミュニティ	13:20 ~ Session 4 : FSC
13:40 ~ 14:20	(40)	Session 6 [DIVE DIVERSITY] 渋谷区で取り組むダイバーシティを可視化するシティプロジェクト (株) 東急エージェンシー 菊井 健一さん 渋谷区 澤田 伸さん (一財) 渋谷区観光協会 金山 淳吾さん	コミュニティ	13:50 ~ Session 5 : FSC
14:25 ~ 14:50	(25)	Session 7 Airbnbが目指す「体験」 Airbnb Japan(株) 田邊 泰之さん	コミュニティ インバウンド	14:35 ~ Session 6 : FSC
14:55 ~ 15:20	(25)	Session 8 世界初ギネス認定ロボットホテルの生みの親が次々とイノベーションを起こせる理由とは? ハウステンボス・技術センター(株) 岩爪 猛さん	Tech Creativity インバウンド	
15:30 ~ 15:55	(25)	Session 9 顧客が顧客を呼ぶ。コミュニティマーケティングのスタートに必要な3つのこと。 パラレルマーケター / エバンジェリスト 小島 英輝さん	コミュニティ	
16:00 ~ 16:40	(40)	Session 10 協賛したくなるイベント、協賛したくないイベント! スマートニュース(株) 菅原 健一さん (株) ニューバランスジャパン 鈴木 健さん (株) インフォバーン 田中 準也さん	toC Event toB Event	15:35 ~ Session 8 : FSC
16:45 ~ 17:25	(40)	Session 11 「まちに、未来を、インストール」クリエイティブイベント No Maps と Sapporo AI Lab の対談 No Maps 実行委員会 伊藤 博之さん 北海道大学大学院情報科学研究科 教授 / Sapporo AI Lab 川村 秀憲さん	コミュニティ Creativity toC Event	16:55 ~ Session 10 : FSC
17:30 ~ 18:10	(40)	Session 12 大規模 BtoB イベントを仕掛ける企業のマーケティング戦略 (仮) アマゾン ウェブ サービス ジャパン(株) 篠原 克志さん サイボウズ(株) 鈴木 亜希子さん 日本経済新聞社 戸井 精一郎さん	toB Event	17:40 ~ Session 11 : FSC
18:15 ~ 18:55	(40)	Session 13 プロレス会場をメディア化! クライアントメリットを打出す新たなファンマーケティング手法 大日本プロレス(有限会社四ツ葉工芸) / プロレスラー 関本 大介さん 大日本プロレス(有限会社四ツ葉工芸 代表取締役) 登坂 栄児さん (株) リアルクロス 山口 義徳さん	SocialMedia toC Event	18:25 ~ Session 12 : FSC
				19:05 ~ Session 13 : FSC

● NETWORKING PARTY

19:15 ~ 20:30 ※ COMMUNITY/MEETUP エリアにて



BACKSTAGE も
公式アプリ
採用!

イベントに特化したアプリで課題を一気に解決!



https://eventos.tokyo/
イベントス 検索



資料請求 お問合せ 03-6809-6064 (平日 10:00 ~ 19:00) 株式会社 ブレイブソフト event_contact@bravesoft.co.jp

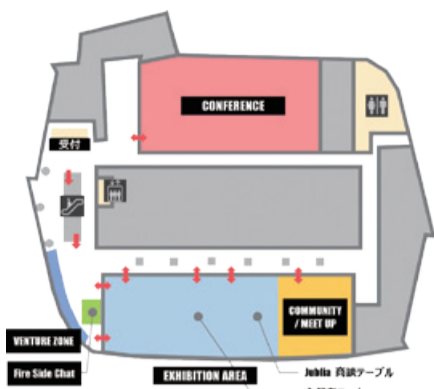
www.ray.co.jp

株式会社レイ イベント事業本部の
映像機器レンタル&AVシステムプロデュース

ショーテクニカル ステージビジュアル エキシビジョン コンベンション

株式会社レイ イベント事業本部
東京事業所 TEL.03-5767-5910 大阪事業所 TEL.072-967-0622 京都事業所 TEL.075-705-1278

● 会場 MAP



／ アドバイザーメンバーを探そう ／



New !

● COMMUNITY / MEETUP

【IoT シーズを調達しませんか?】

あなたの課題が不足しています!!

IT 採用現場× KT-NET 厳選シーズでビジネスを創出

12:50 ~ 14:20

KT-NET

Knowledge & Technology Information Network

ニーズ+シーズ+デザインスプリント→事業創出をテーマにKT-NET 保有シーズ、デザインスプリ

ントの事例紹介。

「KT-NET 活動紹介」(東京システムハウス株式会社 KT-NET 事務局今井雄大氏)、「IoT 時代の標準インターフェースは音声合成~チカチカインターフェースから音声へ~」(株式会社 KDDI 総合研究所小原朋広氏)、『家族をつなぐコミュニケーションロボット「BOCCO」と、家

ADVISORY BOARD の皆さんがビーコン搭載スマートパス「eventplus」を持って場内を回遊中。その様子は主催者ブース(展示エリア内)でチェックできる。ADVISORY BOARD と会いたい方、eventplus でできること、デモをご覧ください方は必見。

< ADVISORY BOARD >

Antti Sonninen 氏 (Slush Tokyo Co-founder & CEO) | 伊藤博之氏 (No Maps, LLC 代表社員 クリプトンフューチャーメディア代表取締役) | 岡星竜美氏 (東京富士大学経営学部 イベントプロデュース学科教授 / イベント

社会工学研究所所長) | 小島英揮氏 (パラルレルマーケット / エバンジェリスト) | 佐竹美帆氏 (spirity 代表取締役・Color Me Rad JAPAN レースディレクター) | 田中華也氏 (インフォバーン取締役・執行役員、ソリューション部門 部門長) | 中嶋文彦氏 (電通 CDC Future Business Tech Team 部長 事業開発ディレクター) | 西村真里子氏 (HEART CATCH 代表取締役 / プロデューサー) | 藤本あゆみ氏 (at Will Work 代表理事・お金のデザイン Senior Communications Manager) | 牧野晃典氏 (TAMARIBA 代表取締役) | 山本牧子氏 (MPI Japan Chapter 名誉会長・Finesse Hospitality Management 代表取締役)

庭用ユーザーインターフェースの未来」(ユカイ工学(株)青木俊介氏)、「~全ての製造業はサービス業化する~ IoT がもたらす顧客体験イノベーション。」Powered by (株)クルージャ ((株)bridge 大長伸行

氏)、「IoT 体験型マーケティング! 日本初のスマートホテルとは?」KT-NET フェスタ 2017 秋 IoT とインバウンドイベント (and factory(株)小原崇幹氏) の5部構成で展開する。

観光客と地元コミュニティの結びつきをさらに深めるプラットフォームへ

自分の経歴や情熱に自信を持って、世界にシェアしましょう! 体験ホストにトライ

15:05 ~ 16:05 [*招待制]



東京で Airbnb を通じて体験を提供するホストを招き、「Airbnb の体験とは」、「体験ホストになるための基準」、「ユニークな体験の作り方」な

どをワークショップ型で展開。体験ホストに興味がある、ユニークなコミュニティをもっている、インバウンドビジネスをしている方が対象。

CMC Meetup @ BACKSTAGE:

コミュニティマーケティングのキホンからギモン解消までを1時間で!

16:10 ~ 17:10



「顧客が顧客を呼ぶ」コミュニティマーケティングを実践する marketer が集うコミュニティ CMC Meetup の定期ミートアップを特別

開催。キホンや実践方法についての対談と参加者とのディスカッション形式で展開する。

グランドキリン びあのお 「GRAND KIRIN CRAFT BEER ROOM」 @BACKSTAGE

17:40 ~ 18:40 [*事前登録制]



クラフトビールテイasting イベント開催! グランドキリンをはじめ、クラフトビールが楽しめる無料テイasting イベント。いまさら

聞けない「クラフトビールって何?」という基本から、一度は飲んだことのあるビアスタイルの特長について、広く知ることができる。

● EXHIBITORS

[EXHIBITION AREA]

(50音順、パネル名(会社名))

- <主催者ブース> イベントレジスト
- Inter BEE 2017 (日本エレクトロニクスショー協会)
- エクセリ
- エスケープハントジャパン
- エビリー
- くまもと DMC
- QLQL (QLCLE)
- クロス
- <主催者ブース> 月刊イベントマーケティング
- KT-NET (東京システムハウス)
- <コーヒー提供カウンター> CITABRIA
- CATERING
- サクラインターナショナル
- ジェイウイング
- シナジーマーケティング
- <主催者ブース> Jublia
- 鈴木電機
- 第一興商
- 大日本プロレス
- チェリービー
- Tokyo Prime (IRIS)
- 日本アイ・ビー・エム
- ヌーラボ
- NECソリューションイノベータ

パワープロジェクト / ピーダブ

- リューアールスポーツ
- プレイブソフト
- <主催者ブース> ホットスケープ
- MIRACLE PAINT (POOL)
- MovieAD (J-Stream)
- モニック
- LIFE STYLE
- LIVE NINJA (スタートライン)
- リアルアフィリエイト
- by リアルクロス
- ログミー
- [VENTURE ZONE]
- (50音順)
- オープンロジ
- GRANDOP
- Cbcloud
- シネ・フォーカス
- スペースマーケット
- ちきゅう
- DVERSE Inc.
- 日本コンベンションサービス
- スタッフオペレーションセンター
- ブライター・レイター
- MYWAY design
- Meet The Photo
- RALLY (フェイスクリエイツ)

スタンドアップガイズは BACKSTAGE のステージ進行、演出、音源制作を担当しています。

イベント成功の方程式 知っています。

おや? お困りですか? イベント担当に任命されたあなた。これはチャンスです。あなたの会社のこと、根拠り業振りお聞かせください。



TEL: 03-5809-2709 www.event-suguy.com/

株式会社 stand up A guy's 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 2-4-6 竹節ビル 2F



64 電力

処理能力 需要

100%

BACKSTAGE に電気を送る!

BACKSTAGE の参加者にうちの仕事が伝わるかな?

会場内の色々なところにひっそりと鈴木電機アビールしておきます。

株式会社 鈴木電機

〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-12-5
TEL 03(3842)8201 (代) FAX 03(3845)3040
URL: http://www.suzukidenki.co.jp

Session 1 イベント制作の企業交渉など、裏側ぶっちゃけ話

10:00 ~ 10:40



Rhizomatiks
Creative Director /
Technical Director
齋藤 精一さん



森ビル (株)
森アートセンター
森美術館企画・営業チ
ームリーダー兼 都市開発
本部 企画企画部 計画
推進部
森山 央さん



日本アイ・ビー・エム (株)
GB 事業本部 コグニティ
ブビジネス推進室
コグニティブエクスペリ
エンスプロデューサー
岡田 明さん

リベロとは、ポジションにとらわれず行動範囲の広い、攻撃的な守備プレイヤーのこと。イベントでは資金や技術、人的リソースなど、企業側の力を引き出していくことも重要な要素となる。

突出したクリエイターでありコンダクターのもと、プロトコルを同じくして走り回るリベロたちの裏側を Rhizomatiks 齋藤精一さん、森ビル 森山央さん、日本アイ・ビー・エム 岡田明さんがぶっちゃける。

Session 2 体験するから心に響く！記憶に残る！

10:45 ~ 11:10

～ エスケープハントの体験型アクティビティのマーケティング・MICE 誘致・DMO 活用事例紹介今後の展開

The Escape Hunt Experience は体験型謎解き脱出ゲームの世界最大手として世界 25 か国に約 50 店舗 (2017 年 8 月時点) を展開。今年 5 月 4 日にはロンドン証券取引所に上場を果たしている。エスケープハント東京は、日本 1 号店として 2015 年 8 月にオープン。国内唯一のフルパイルンガルサービスの体験型謎解き脱出ゲームのミニテーマパークで、東京観光財団の MICE 誘致施設にも選ばれている。利用目的も個人のエンターテインメント需要から法人のチームビルディング、マーケティング、イベント活用等多岐に渡る。日本にエスケ



エスケープハントジャパン (株)
代表取締役 FOUNDER & CEO
山田 敦子さん

プハントをもちこんだ山田敦子さんが欧米・アジアオセアニア・中東等世界各地でのエスケープハントの体験型アクティビティの活用事例と MICE 誘致 / DMO への取組状況を現場の肌感覚とともに紹介、Experience Marketing の今後について考える。

Session 3 カルチャーイベントとフードイベントの仕掛け人が語る、まだまだイベントで出来ること

11:15 ~ 11:55



AATJ (株)
代表取締役社長
遠藤 衆さん



アンビシステム (株)
代表取締役社長
中川 悠介さん



(株) TAMARIBA
代表取締役
牧野 晃典さん

毎週のように音楽を中心としたイベントを仕掛けているアンビシステム中川悠介さんと、日本一のフードフェスとなった肉フェスを仕掛ける AATJ 遠藤衆さんの両社長を TAMARIBA の牧野晃典

さんがモデレート。数え切れないほどのイベントを主催する中で体で学んだ成功と失敗。そして、ジャンルにとらわれないこれからのイベントの作り方とその広りの可能性を語り尽くす。

Session 4 地方創生に役立つデータの力

12:40 ~ 13:05



(株) データビークル
共同創業者・取締役副社長
西内 啓さん

少子化や人口減少など地方の衰退に関わるニュースは後をたたないが、データを上手く使えば、日本の未来を諦める必要はない、とするデータビークル西内啓さん。たとえば、「観光に来てくれる人と来てくれない人の違いは何か」「売れる商品とそうでない商品の違いはどこか」といったことを分析さえすれば、新たなアイデアは見つかる話す。実際に、データビークルとくまもと DMC の取り組みから、地方がもっと稼ぐための具体的な方法論が紹介される。

Session 5 グローバルソーシャルネットワーク

13:10 ~ 13:35

～ Facebook の日本社会にむけたコミュニティ構築～

サービススタートから 13 年経ち、今年 6 月に月間アクティブユーザー数 (MAU) が 20 億人を突破したと発表した Facebook。グローバルソーシャルネットワークと題して、日本社会にむけたコミュニティ構築について Facebook Japan の横山直人さんが語る。



Facebook Japan
執行役員
横山 直人さん

Session 6 「DIVE DIVERSITY」渋谷区で取り組むダイバーシティを可視化するシティプロジェクト

13:40 ~ 14:20



(株) 東急エージェンシー
戦略事業本部
東急プロジェクト
プロデュース局 局長
菊井 健一さん



渋谷区
副区長
澤田 伸さん



(一財) 渋谷区観光協会
理事長 / Chairman
金山 淳吾さん

ダイバーシティという非常に広範囲にわたるこれからの社会の重要なキーワードを産官学民が連携する取り組みとしてプロジェクト化していくスタートラインに今の渋谷という街は立っている、と話すのは渋谷区副区長の澤田伸さん、渋谷区観光協会の理事長 / Chairman の金山淳吾さん、東急エージェンシー戦略事業本部 東急

プロジェクトプロデュース局 局長の菊井健一さん。

セッションでは、このプロジェクトを牽引する渋谷区や渋谷区観光協会の狙い、プロジェクトをサポートするビジネスプレイヤーからみた可能性や課題など、今まさに動き始めた未来づくりの現在進行形を中心人物がでクロストークしていく。

Session 7 Airbnb が目指す「体験」

14:25 ~ 14:50

Airbnb の魅力は、新しい人と交流することで、自分では見つけられない「もの」や「こと」などに会えるということ。Airbnb ならではの発見を提供するための Airbnb 体験について、代表の田邊泰之さんが語る。BACKSTAGE 内では体験ホスト向けのセミナーも開催される。



Airbnb Japan (株) 代表取締役
田邊 泰之さん

Session 8

14:55 ~ 15:20

世界初ギネス認定ロボットホテルの次々とイノベーションを起こせる理由とは



ハウステンボス・技術センター (株)
CMT (チーフマーケティングテクノロジスト)
岩爪 猛さん

2015 年 7 月には「変なホテル」第一期棟立上げ、2016 年 3 月にはグランドオープン成し遂げたロボットホテルの生みの親、岩爪猛さんがイノベーションを起こし続けられる理由とは？ ビジネス創出の法則とは？などを解説、多数の事業立ち上げ経験から現場の裏側についても紹介する。

Session 9 顧客が顧客を呼ぶ。コミュニティマーケティングのスタートに必要な3つのこと。

15:30 ~ 15:55



パラレルマーケター/エバンジェリスト 小島 英揮さん

多くのビジネスが「コミュニティ」を通じたマーケティングに注目し始めているが、コミュニティとどのような関係構築をすれば良いのか迷っている企業も多い。セッションではアマゾンやストライプなど、多くの企業でコミュニティ立ち上げを経験したパラレルマーケター/エバンジェリストの小

島英揮さんが、企業ブランドや商品のコミュニティを立ち上げる上で大事なことについて、事例を交えて紹介する。さらに「コミュニティマーケティングを考えるコミュニティ」=CMC Meetup の特別編がBACKSTAGE内出張開催される。



Session 10 協賛したくなるイベント、協賛したくないイベント!

16:00 ~ 16:40



スマートニュース(株)ブランド広告責任者 菅原 健一さん



(株)ニューバランスジャパン DTC & マーケティングディレクター 鈴木 健さん



(株)インフォバーン取締役・執行役員、ソリューション部門 部門長 田中 準也さん

ニューバランスのスズケンこと鈴木健(たけし)さんとスマートニュースのスガケンこと菅原健一さんを迎え、B2CあるいはB2Bのマーケターとして、協賛したくなるイベントとはどんなものなのか、それぞれの視点で語ってもらう。モデレーターはジュンカムことインフォバーンの田中準也さん。イベント主催者、エージェンシーからマーケターまで必見のセッション。

Session 11 「まちに、未来を、インストール」クリエイティブイベント No Maps と Sapporo AI Lab の対談

16:45 ~ 17:25



No Maps 実行委員会委員長 伊藤 博之さん



北海道大学大学院 情報科学研究科 教授 Sapporo AI Lab 所長 川村 秀憲さん

イベント「NoMaps」を契機に街を使った実証実験・社会実装を進めていく札幌・北海道。産官学民が一体となり、テクノロジーを核に地域の価値を高めようと仕掛ける都市の動きを、Sapporo AI Lab・

川村秀憲ラボ長と No Maps 実行委員会・伊藤博之委員長が語る。AIなどテクノロジー活用の実証動向などから、これからの札幌、北海道を起点に動き出す未来を予想する。

Session 12 大規模 BtoB イベントを仕掛ける企業のマーケティング戦略

17:30 ~ 18:10



アマゾン ウェブ サービス ジャパン(株) マーケティング本部長 篠原 克志さん



サイボウズ(株) プロモーションディレクター 鈴木 亜希子さん



日本経済新聞社 デジタル事業 広告・IDユニット シニアプロデューサー 戸井 精一郎さん

1 万人超規模のイベント「AWS Summit Tokyo」を担当するアマゾン ウェブ サービス ジャパンの篠原克志さん、今年創業20周年を迎え東京・大阪だけでなく上海でも開催した「Cybozu

Days」を担当するサイボウズの鈴木亜希子さんが大規模 BtoB イベントを仕掛ける企業のマーケティング戦略をテーマに展開するセッション。モデレーターは日本経済新聞社の戸井精一郎さん。

Session 13 プロレス会場をメディア化! クライアントメリットを打出す新たなファンマーケティング手法

18:15 ~ 18:55



大日本プロレス(有限会社四ッ葉工芸) プロレスラー 関本 大介さん



大日本プロレス(有限会社四ッ葉工芸) 代表取締役社長 登坂 栄児さん



(株)リアルクロス 代表取締役社長 山口 義徳さん

今、プロレス会場が熱い!! プロレス熱が再燃している昨今、多くの若者がプロレスをエンターテインメントとして楽しんでおり、自分の最員の選手に熱い声援を送る、そして過去に熱い戦いに燃えていた40代・50代の世代が会場に戻っている、また男性ばかりではなく女性客が4割を占める事も多い、それが

現在のプロレス。そのプロレス会場をリアルクロス社が新たなビジネスの場として注目し、クライアントメリットが出るマーケティング手法を実施。今回はリアルクロス山口社長、大日本プロレス登坂社長、トップレスラーである関本大介選手と新たなファンマーケティング手法を共有する。



定
の生みの親が
セッションを
は?

BACKSTAGE



BACKSTAGE 2017の舞台裏

BACKSTAGE2017の舞台裏は、イベント、ビジネスカンファレンス、展示会の運営のショーケース。「体験型マーケティングに学び、出会う1日」のコンセプトを空間に立ち上げ、空気を一緒に作りあげる舞台裏のプロチームからも、学び、出会うことができる。



CONFERENCEのステージイメージ (8月10日時点のイメージ、提供：クロス)



主催

BACKSTAGE 実行委員会

実行委員会「BACKSTAGE2017」に向けキックオフミーティングをしたのは、2016年12月16日。毎週月曜日にメンバー7人が集まり約8ヶ半をかけて、『体験型マーケティングに学び、出会う1日』になるよう、コンテンツづくりやスポンサー集め、集客計画に奔走した。

運営統括

ホットスケープ (前野伸幸さん・武田英之さん) BACKSTAGEをともに創り上げるメンバーのリクルーティングから、そのプロたちのパフォーマンスを最大限発揮するチームづくりまでを担当。

受付

- 受付ディレクション
イベントレジスト
- 受付スタッフ
ボランティア
- プレス担当
月刊イベントマーケティング

Fire Side Chat

- 映像機器
シネ・フォーカス (本田直之さん)
映像・機器のレンタル、映写サービス、映像制作まで、トータルビジュアルサービスを行う。BACKSTAGEでは各コーナーのモニター、プロジェクター、周辺機器を用意。「ピッチ数の違うLEDパネルの比較なども考えています」
- 音響・照明
パシフィックアートセンター
- カーペット (人工芝生)
カナモト
- 運営スタッフ
ネットワークコミュニケーションズ (武田由紀さん)



CONFERENCE

- 演出
ホットスケープ (前野伸幸さん)
- 進行・台本作成
Stand up A Guy's (竹倉寛敦さん)
昨年同様、カンファレンスを担当。演出の意図、登壇者の意図を汲み、技術担当者に伝え、一体感あるステージをつくる。「来場者にどのようなイベントだったかを印象づける大切な

役目。頑張ります」

- 音響・照明
パシフィックアートセンター (古閑直人さん)
- 映像スリッター
レイ (菊池翔太さん)
- 拡大中継
LIVE NINJA (駿河由知さん)
- 即時編集
チェリービー (山口正人さん)

- 舞台造作
クロス (高橋雅子さん・安斎敏昭さん)
経師貼りや木工を得意とする技術力、イベント企画をワンストップ手がける企画力を併せもつクロス。「主催者の“かっこいい”をどう表現するか、イメージの磨り合わせにもっとも時

間を使います」(高橋さん)、「ステージは、クールだけど、キレイ過ぎず、無機質感がある、そんな舞台をつくれます」(安斎さん)。

- 映像制作
映像クリエイター (加藤康介さん)
- PPT制作
イベントレジスト (小笹文さん)
- ファニチャー提供
モニック (小熊大介さん)

●オフィシャルカメラマン

- Meet The Photo (大槻真巳さん)
- Tokyo Otaku Mode (原哲也さん)

●SNS担当

- ボランティアスタッフ
- 誘導・庶務・連絡係 (ロビー・CONFERENCE会場内)

日本コンベンションサービス (石井良枝さん)

国際会議・学会運営の専門会社 (PCO) としての経験とノウハウを活かし、カンファレンス・イベントでもスタッフをまとめ、主催者を支える。「対応力とコーディネート力でBACKSTAGEのスムーズな進行と魅力あるイベントづくりに貢献します」

- 誘導 (EXHIBITION AREA)
パワープロジェクト



EXHIBITION AREA/ VENTURE ZONE

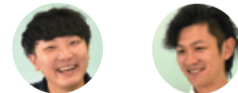
- 出展者事務局・全体管理
ホットスケープ
- 施工・造作
サクラインターナショナル
イベント・MICEの企画・運営・事務局業務・デザイン・施工など、様々なサービスをトータルロデュース。BACKSTAGEでは、展示ホールの施工などを担当。
- 備品・什器
モニック (小熊大介さん)
上質なソファ・テーブルをイベント会場に提供する。「皆様のブランディングにインテリアの魅力で貢献します。BACKSTAGEではその品揃え

の一端をお見せします」

- 電気工事
鈴木電機 (飯田展生さん)
展示会場の電気工事を担当。「出展者さんがブースでどれだけの電力を使用するのか、電気を取るところから使用する場所までどのようにしたら配線が邪魔にならないかなどを主に考えています。虎ノ門ヒルズの準指定業者としても2年目となりました。イノベーションの発信地に相応しいアンテナの立ちまくった電気業者を目指しています」

COMMUNITY/MEETUP

- 進行・台本作成・会場内案内
パワープロジェクト (花輪晋之介さん・早川泰弘さん)



Sense, Speed, Quality をモットーに派遣人材の意識向上に取り組むパワーアップ。信頼高いキャスティング事業と、運営、制作、進行をワンストップで受けられるイベント事業のノウハウを提供。「定着率が高く、スタッフ間のスムーズなコミュニケーションが弊社のウリ。イベント開始直後から100%のパフォーマンスを発揮します」。 (早川さん)

- 映像機器・オペレーション
レイ

- 造作・施工
クロス
- 音響・照明
パシフィックアートセンター
- 備品・什器: モニック
- ケータリング (ネットワークング)



CITABRIA (村田晃洋さん) 完全なオーダーメイドケータリングを提案。「“世界に二つとない、ONE AND ONLYな”センス溢れるパーティをプロデュースします」

海外レポート：中国 EPFIC その2

欧州展示会企業との協業とデータ活用が鍵に

—EPFIC2017



会場となった北京雁栖湖国際会展中心はAPEC2014 首脳会議が開かれたことも

政府の取組み透明化と市場主義へシフト急ぐ

前号に引き続き、中国北京で開催された Expo Project Fair for International Cooperation (EPFIC2017) についてレポートする。

パネルディスカッション「グローバル展示会企業が語る」では、中国展示会企業の最新の取組みと産業の展望、出展者ニーズの変化、展示会運営の革新技術について議論された。

中国貿易組織研究会の霍建国副会長は、中国展示会産業がグローバルスタンダードに適合した形で成長す

るために、中国ブランド展示会だけでなく、欧州展示会企業との協業をこれまで以上に進めるべき、との持論を述べた。また、政府の取組みの透明性向上、政府主導から健全な競争がある市場主義へマインドシフトの必要性について語った。

新嘉坡新展集団の孫添友総経理は、シンガポール展示会が、以前は中国市場へのスプリングボードの役割を果たしていた

が、現在は中国展示会が成長しその役割は終わったとの認識を明らかにした。シンガポールでは展示会だけでなく、技術者、研究者、アーティストが集まる交流の場としての付加価値向上がトレンドと紹介した。

中国畜産業協会の劉強徳副秘書長はビッグデータの活用などデータ・ドリブン・マーケティングとして展示会を活用する“スマート・エグジビション”のニーズが出展企業の間で増えていると説明。守秘義務の徹底やデータ・セキュリティの重要性が課題とした。展示会の効率向上を唱える一方、展示会には成果だけでなく面白さも求められている、との見解を示した。

その他のセッションについては追って報告する。(取材・文=田中力)



司会は中国展示会経済研究会の陳沢炎氏が務め、聴講者を巻き込んだ双方向のセッションに

Gastech に海外展の安全対策学ぶ

— サクラインターナショナル

展示会・イベントの施工・企画・主催者サポートを手がけるサクラインターナショナルが8月4日、草加市文化会館で安全大会を実施。同社から20人、協力会社から約80人が参加した。

昨年度の事故統計発表後、安全担当主任の周氏は「安全パトロール、朝礼実施の徹底、KY（危険予知）活動の成果があり重大事故は減っているが、事故がなくなったわけではない」とし、車両事故や電気ショートなど、大規模な事故につながる可能性のある案件については、事例をあげて、事故原因や再発防止策などを説明した。

毎年発表される安全標語には、昨年の81件を大きく上回る191件の応募があり、安全活動の認知向上、安全への意識向上がうかがえた。大賞に選ばれたのは、「深呼吸、焦る心にブレーキを!」、時間や気持ちにゆとりがない時のヒューマンエラーが事故につながることを踏まえた作品が選ばれた。

グループディスカッションも行われ、社内5事業部、協力会社は業種別に8つの班に分かれて全参加者が議論。現在の取組みや心構えなど、

を語り合い安全宣言を行った。

安全委員会の今井雄彦副委員長は今年4月に幕張メッセで開催された「Gastech Japan 2017」の安全対策を紹介。①全スタッフが会社別に色分けされたベスト着用②会場内車両乗り入れ禁止しトラックヤードから手運び③フォークリフトの使用を一次請会社に限定④リギング（天吊）は主催者の監視下で行う⑤電気ブレーカーにカギと張り紙、といった海外主催者の徹底した安全への取組みに「学ぶべき点は多い」と語った。

主催者や出展者が展示会会期に備えた準備を、現場の事故で台無しにしないために、未然のヒヤリハットを含めて共有し、防止施策を行うための、協力会社を含めて意見し合える環境づくりへの積み重ねがみられた。



上) 事故減少もさるる向上を目指す
左) 会場には安全標語も

屋外イベント計画中の皆さまへ!

この仮設テント使える!
リアルな大きさを体感頂きたいテントです。

TENSION FABRIC STRUCTURE

多目的大型テントは「TFSテント」で決まり!

用途事例

- ・コンサート会場
- ・イベント会場
- ・スポーツ会場
- ・展示会会場
- ・各種式典会場
- ・仮設倉庫として

仕様

間	8m~40mまで	奥行き	5m単位で
口	各サイズ		延長可能

レントオールグループのビジョン

TOTAL POWER by NISHIO

- 1 新しい分野に挑戦するエネルギー
- 2 人材の育成
- 3 ソフトの開発 ITを取り入れた新しい市場開発
- 4 データ化、システム化による情報の共有化・見える化の推進
- 5 イベント業界を牽引するトップランナーとして役割を担う

企業力のスパイラル的な向上

私たちレントオールは、グループの強みである総合力と人材力そして挑戦する企業文化をもって、お客様のパートナー企業として最善の成果をお届け致します。

今後も時代の変化をすばやくキャッチし、新しいレンタル商材の開発を進めながら、ハード面とソフト面のノウハウを高め、両輪で提案できるイベントレンタル部門を目指してまいります。

レントオールグループは、業界のリーディングカンパニーとして常に前進し、道を切り拓きます。

TEL : 03-6809-5548 FAX : 03-6809-6595
HP : <http://event.nishio-rent.co.jp/>

MICE のことなら 全てお任せ!

私たちサクラインターナショナルは MICE のトータルプロディーサーです。

「BACKSTAGE」も弊社の実績です!
※写真は「BACKSTAGE 2016」時のものです。

MICE の企画・デザイン・施工・運営

国内外のお客様に対応可能な事務局代行業務

映像コンテンツからステージ演出まで企画・制作

企画からデザイン・施工・当日運営まで社内一貫体制

英語・中国語・スペイン語・ドイツ語・韓国語・ヒンディー語
など、様々な言語に対応可能な
ネイティブスタッフ・バイリンガルスタッフ

SAKURA International Inc.

東京本部 Tel: 03-5646-1160 千135-0048
東京都江東区門前仲町 2-5-9 深川三和ビル 4F

大阪本社 Tel: 06-6264-3900 〒541-0051
大阪府中央区備後町 1-7-3 ENDO 堺筋ビル 3F・4F

<http://www.sakurain.co.jp>

イベンター・マーケター向け
9月のセミナー・イベント

5～29日
ITmedia Virtual EXPO 2017 秋
@オンライン

6～8日
SingularityU Japan Summit
@日本未来科学館

6～8日
東京インターナショナルプレミア
ム・インセンティブショー
@東京ビッグサイト

6～8日
JASIS 2017 (第6回)
@幕張メッセ

6～8日
難加工技術展 2017 / 表面改質展
2017
@パシフィコ横浜

7・8日
国際フロンティア産業メッセ 2017
@神戸国際展示場

9日
VOGUE FASHION'S NIGHT
OUT
@表参道ヒルズ

11日
コンファレンスビジネスマスターズ
シンポジウム
@赤坂インターシティコンファレンス

12～14日
FIT2017 第16回 情報科学技術
フォーラム
@東京大学本郷キャンパス

15日
第15回マーケティングForum2017
@ベルサール飯田橋ファースト

16～18日
ULTRA JAPAN 2017
@お台場 ULTRA JAPAN 特設会場

21～24日
東京ゲームショウ 2017
@幕張メッセ

21～24日
ツーリズム EXPO ジャパン 2017
@東京ビッグサイト

27・28日
Tech in Asia Tokyo 2017
@ベルサール渋谷ガーデン

28・29日
Smart Energy Japan WEST 2017
@グランフロント大阪 ナレッジキャ
ピタル コングレコンベンションセンター

29日
Smart Energy Japan WEST 2017
@グランフロント大阪 ナレッジキャ
ピタル コングレコンベンションセンター

<訃報>
7月25日、衆議院議員の木村太郎氏が膵臓がんのため死去。52歳。自由民主党展示会産業議員連盟の会長を務め、2020年展示会場問題への取組みをはじめ展示会産業の発展へ積極的に活動をしていた。

次号予告 27号は9月30日発行
<特集>
スポーツイベントのマーケティング
/ スポンサー



マーケティングのマラソン “Markethon” で
大学生にお酒がある楽しい生活を

—— キリン×フロムスクラッチ

今どきの大学生って？
議論盛り上がり 20分延長

ほとんど飲まない人が約3割と、若者の酒離れが進んでいる。お酒への興味喚起のため、キリンがフロムスクラッチと共催で、「お酒を楽しむこれからの新しい“習慣” ～大学生の日常に、お酒がある楽しい生活を～」をテーマにイベントを開催。短期集中的に共同作業でマーケティングのアイデアと革新性を競いあう「Markthon」という形式で実施した。

7月20日、渋谷の会場に集まったのは大学生10名を含む33名の成人男女。6グループに分かれ、「面白さ、新規性×継続性×実現可能性」のあるマーケティングアイデアについてディスカッションした。

グループ内では、自身のアルコール

デビューを思い出したり、アルコールが苦手な人にも響くアイデア、今どきの大学生が求めているものなどを掛け合わせ企画を練った。各グループに現役大学生も参加していて、今どきの若者事情を反映した具体性のある議論を行った。

60分を予定していたディスカッションは、各グループの熱が入った議論が続き、20分延長。白熱といっても、ビールを片手に終始楽しそうに話し合っているようすが印象的だった。

“公園飲み”が優勝
新しい市場つくるかも

各グループが提案したアイデアは次の通り。「No Meets! ～いつものラテにお酒を～」、「大学行事とお酒のマリアージュ」、「女子が家で一人飲みで



きる文化をつくらう!」、「お酒×“社会人” 大人の酒活入門」、「オトナの放課後」、「大学にサーバーを」。

優勝したのは「大人の放課後」をプレゼンしたグループ。審査員は、「外飲みと宅飲みの間を捉えた“公園飲み”という点に新規性があり、リーズナブルで手軽なところに継続性を感じます。コンプライアンス面に配慮し、宅飲みとの差別化をブラッシュアップしていけば、十分実現可能でしょう」

と講評した。

終了後は全員でキリンのアルコールと軽食を囲んで親睦会を開催。“お酒を楽しむ”を実証しながら、交流を深めていた。



新規性と継続性もつアイデアが多数出た。*詳細はイベマケ Web に

運用を簡便化し積極的な申請促す

—— 展示会データ認証制度

日本展示会認証協議会は、展示会認証を簡便化するために一部運用を改善。主な変更点は①名称を「展示会に係る第三者認証制度」から「展示会データ認証制度」に変更。②原則的に、調査終了後2週間以内に認証マークを交付する。またあらためて同制度がBtoC展示会も対象として

いることを案内し、制度の活用を呼びかけている。

同制度は、信頼性と透明性が高い統計に基づいた日本の展示会実態を発信し、海外からの出展・来場を増やすことを目的に、2012年から運用開始。これまでに57件が認証されている。

TTG と提携し海外バイヤー招請

—— 大阪観光局

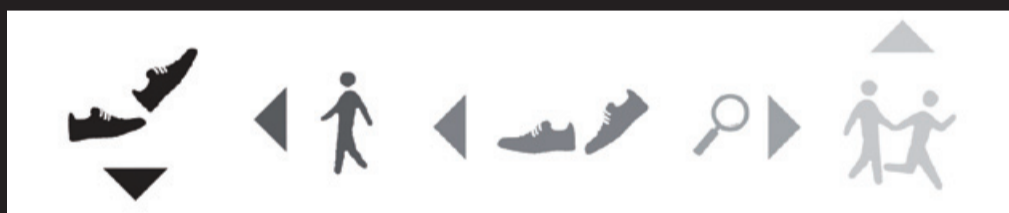
大阪観光局と大阪MICEビジネス・アライアンスは12月7日・8日の2日間、MICE デスティネーション・ショーケース 2017 を開催する。

7日は商談会や、セミナー・対談を行い、8日には視察ツアーを実施する。60社が出展、国内参加者300人に加えて、今回はアジア有数の旅行業界

誌専門出版社TTG Asiaと提携し海外バイヤー30人を招請する。商談の成果が期待される。



BACKSTAGE に隠された謎を解け! -月刊イベントマーケティング編-



「BACKSTAGE2017」では、体験型謎解き脱出ゲームを活用して、会場内の回遊や、来場者・参加者のコミュニケーションの促進を図る工夫をしている。紙面で展開された以下の謎は、読者の皆さんにも解けるだろうか?

<謎その1> 本紙1ページ目に、謎が隠れている。わかるだろうか
Q: All of the numbers between 1 and 9 are printed on the invitation except one. Which number is missing?

<謎その2> 本紙のなかから、上の5つのサインが示す数字を教えてください。
ヒント: Look for the crossing where everyone meets.

*謎の回答は、次号にて発表します。9月20日までに回答いただいた正解者のなかから抽選で粗品を差し上げます。回答は、[emnews@event-marketing.co.jp] まで。



学生・教員限定キャンペーン

学生・教員 先着10名様にチケットを贈呈

月刊イベントマーケティングでは、マーケティングやイベントのプロフェッショナルを志す学生や、教鞭をとる教員の方に、体験マーケティングの最新事情を共有したく、先着10名の方BACKSTAGEのカンファレンス・パスをプレゼントいたします。

【チケット受け取り方法】

8月30日の9:30まで(時間厳守)にBACKSTAGE受付(虎ノ門ヒルズ5階)に本紙+学生証(教員の方は本紙+教育機関のお名刺)を必ずご提示ください。*先着順